

SOUND VOLTEX_{BOOTH} 初心者講座

～みーつま攻略指南書☆ミ～

'12I くものひと

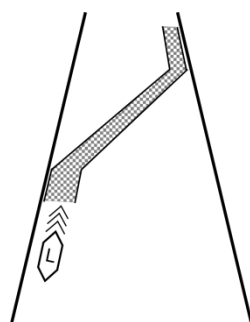
1、はじめに

皆様は音楽で競い合ったことはおありでしょうか。現在各地のゲームセンターにて、KONAMI より稼働中の音楽体感型ゲーム SOUND VOLTEX は、新感覚アナログデバイスである「つまみアクション」で、簡単に誰でも競い合うことができる。しかしこのつまみ操作には酷くクセがあり、巧みに操ることは難しいと思われる。そこで今回はそんな奥様方の悩みを解決すべく、解説記事を作成するに至ったのである。是非活用してもらいたい。

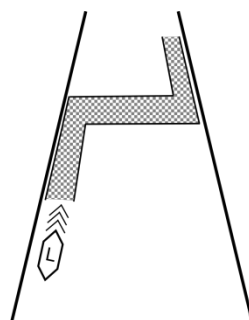
2、つまみって何!?

つまみとはコレ⇒(右写真参照)である。これをリズムに合わせてキューンすればよい。そのタイミングは画面が指示してくれるのだが、その表示が(図 1)である。画面下の青や赤のポインターを、それぞれのレールの上を走らせるように、つまみを操作すればよい。この場合、左のつまみを 時計回りに回せばいいんですね、分かります。次に、(図 2)を見てほしい。一見不可能のように思えるが、実はこれも 同様に時計回りに回せばよいのだ。ちなみに、回す速度は速くても遅くてもどちらでもよい。(図 2)の場合でも、ちょこっと回すだけでもちゃんとポインターが働いてくれる。なんとも頼もしい。

しかし、ここで(図 1)において注意すべき点が二つある。一つ目は、つまみを回すだけではなく、回し『続け』なければならない。つまり、先端から終端までつまみをクルクルし続ける必要があるのだ。二つ目は、つまみを過剰に遅い速度で回した際に起こる脱線である。これは初心者にありがちなミスであり、つまみが操作に反応できないために起こる現象だ。これらに気を付ければ、キミもクールなミーつまジョッキーになれるだろう。



(図 1)



(図 2)

3、回し方あれこれ

前項にて、つまみとの基礎的な戯れ方を学んでいただけたと思う。しかし実際にプレイしてみると、つまみの回し方に手こずり、ポインターがあっちゃこっちゃに SKY HIGH してしまう。そのようなことがないように、様々な回し方を紹介しよう。ぜひとも一つ一つ試してみるとよいだろう。(写真はタイターサイトにて撮影しました)

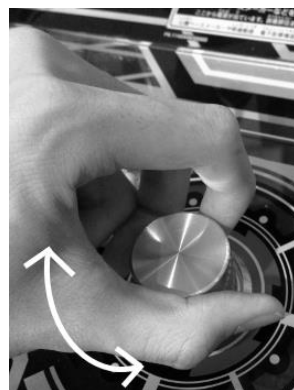
① ネジ回し

ネジを手で回す際に、ネジの頭をつまんで回す方が多いと思う。親指,人差し指,中指などの先端でネジをつまみ、手首をひねり、掴み直す動作を繰り返してネジを締める。これと同じ要領でつまみを回す方法がネジ回しなのだが、実はこのやり方はオススメできない。この方法を実際に行うと、つまみがいちいち止まってしまう、回転を持続させることができない。このため、ポインターがレールから外れてしまいやすいのだ。これ以外の方法を推奨する。



② 肘回し

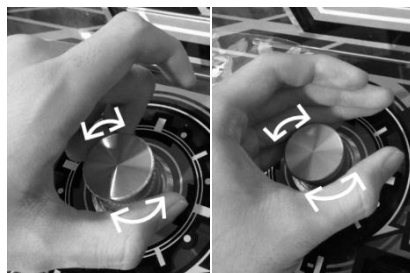
肘回しといっても、つまみを肘に挟むのではない。せやな。つまみに手をかぶせるように親指,人差し指,中指で深く、しっかりと持つ。そして、あまり手首を使わずに腕全体、特に肘を意識して回す方法である。この方法の強みは、安定した速度でつまみを回し続けることができる点だ。また、逆方向に回し直す際にも優秀な面が見られる。デメリットとして、回す角度に限界がある点が挙げられる。常に一方向に回し続けていると、肘の角度に無理が生じてしまう。こういった場合には、再度持ち直すか他の回し方に移行するか、どちらかが必要だ。



③ ペットボトル回し

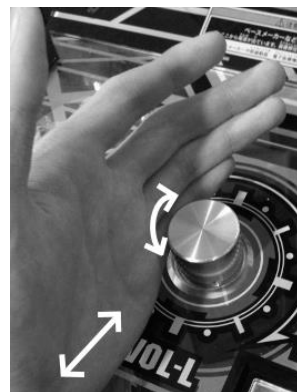
ここにペットボトルがあるとする。あなたならどうフタを開けるだろうか。いやまあ開け方なんて色々あるけども。私はフタの縁を親指でなぞり回し、次に人差し指や中指や薬指などの横の部分で同様になぞり回す。これを繰り返して、フタを開ける。

これを SOUND VOLTEX に応用した回し方が、ペットボトル回しである。分かりづらい。この方法の利点は、一方向に永遠に、永久に回し続けられることだ。欠点は回転に安定感を持たせづらい点である。特に逆方向に回す際に、細心の注意を払う必要がある。



④ ろくろ回し(中級者向け)

ネーミングセンスの無さに泣ける。つまみの縁に小指の付け根辺りを押し当て、そのまま手を押し引きすることによって回す方法である。この方法の利点は、肘回しと同様に回転に安定感を持たせることができ、逆方向に回転させやすいことだ。また、高難易度に挑戦する際に、ボタンから素早くつまみへ手を移動させやすい点もある。欠点はやはり回転量に限界がある点だ。これにより、やはり持ち直しか回し方の移行が必要である。



4、まとめ

以上が私の推奨するつまみとの和解指南である。しかし、これらの方法が絶対というわけではない。重要なのは全てをマスターすることではなく、自分に適した方法を模索し、つまみとの有意義な時間を過ごすことである。

上記の回し方を試行してもうまくいかないことが多々あるだろう。そのような時にこそ落ち着き、状況を把握しよう。回し始めるタイミングが早すぎたか？ 回す速度が遅すぎたのか？ 逆のつまみを回していないか？ 回す方向を間違えていないか？ これらを意識して改善していくことにより、つまらないミスは 少なくなるだろう。何事もチャレンジが大事さ。とりあえずまあこのゲーム面白いんで、試しにやってみれば良いと思うよ。

THANK YOU FOR READING

THIS TO THE END!